

大地の恵と海の幸 持続可能なまちへ



町長

濱舘 豊光

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様には、初春を清々しい気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素から町政の推進に対し温かいご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年は、8月の豪雨災害により、町は甚大な被害を受けました。被害に遭われました町民の皆様は、心からお見舞いを申し上げます。町としましては、国・県と協力し、先月発行しました広報なかどまり12月号にてお知らせした復旧事業スケジュールに基づき、1日も早い復旧、復興に努めてまいります。

■風を地域の資源として

さて、国では、2050年までに年間12億トンを超える温室効果ガスの排出を実質ゼロにすることを目標に掲げ、産業構造や経済社会の変革に取り組んでいます。化石燃料を大量に燃やして二酸化炭素の排出量が増加したことにより、地球温暖化が加速し、海面の上昇や酸性化、洪水、干ばつなど、自然環境や生活にも影響をもたらしています。このことから、脱炭素社会を実現するため再生可能エネルギーの活用が日本国内でも重要な課題となっています。当町中里地域においては、尾別地区に中里風力発電所が昨年竣工しました。また、小泊地域では、小泊漁港区域を活用した洋上風力発電事業が計画されているほか、日本海沿岸でも多くの事業者が洋上風力発電事業への参入を検討しています。風は地域の資源であります。今まで利用されてこなかった風を大いに活用し、地域振興、産業振興に取り組んでまいります。

■ポストコロナのデジタル改革

長い間続いております新型コロナウイルス感染症との戦いは、波を繰り返しながら昨年11月から第8波を迎えており、インフルエンザとの同時流行も懸念されています。年末年始をまたぐ

スケジュールとなりましたが、オミクロン株対応ワクチン接種の実施により新規感染者数は徐々に抑えられるものと期待しております。

町では、デジタル改革の推進によるポストコロナの新しい社会作りに取り組んでおります。楽天Edyなどの電子マネーを町内の各店舗で利用できるように端末機の導入を推進しました。デジタル化により私たちの生活はますます便利になります。

また、国が国民に取得をお願いしているマイナンバーカードは、我が町が昨年、県内でトップの交付率となりました。今後も全町民に取得していただくようお願い申し上げます。健康保険証や運転免許証の代わりとなるのはもちろんのこと、3月中には、全国のコンビニエンスストアで住民票、印鑑証明書、納税証明書などの各種書類を取得できるよう、町でも準備を進めております。近い将来、各種行政手続きを自宅にいながらオンラインで行うことが当たり前の時代となっていくのではないのでしょうか。

■地域力を高め安心な生活を

当町のみならず、少子高齢化による人口減少問題は全国的な課題となっております。この課題解決に向けて、昨年4月から25行政区で兼任集落支援員

を配置させていただきました。人口が減っていく中で地域を維持していくためには、地域内のつながりが大切になってきます。町内会長などが集落支援員を兼ねる兼任集落支援員には、地域のリーダーとして活性化に取り組んでいただき、地域住民一人一人が地域のことを自分ごととして関わり、自分たちが暮らしやすい地域にするために取り組んでいただいております。地域の課題を見つけ、1つずつ解決していくことが、結果として地域力を高め、人口減少社会にあっても、安心して地域で暮らし続けることにつながるものと考えています。

町や地域には、たくさんの解決すべき課題がありますが、常に変わりゆく社会の流れや国の動向も注視しながら、情報を正しく分析し、適時適確に対応してまいります。

当町の基幹産業である一次産業「大地の恵と海の幸」でしっかりと食べていく持続可能なまち、町民の皆様が安心して楽しく暮らせるまちをめざして、これからも日々の公務に取り組んで参りますので、今後とも町政運営に對しましてご理解とご協力をお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈りし、新年のごあいさつといたします。

希望の光が続くよう さらに精進



川山 光則

町議会議長

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。平素は町議会に對しまして格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、8月の大雨災害では、未曾有の降雨量によって町内各地に甚大な被害をもたらしました。家屋などの浸水をはじめ、道路や河川とその周辺、そして当町の基幹産業である農業にも深い爪痕を残しました。

被災されました皆様には、心からお見舞い申し上げます。また、災害対応にご尽力いただきました全ての関係各位に深く御礼申し上げます。

町議会としましては、情報収集と関

係機関との調整に臨み、一刻も早い復旧と強靱化に向けて尽力していく所存です。

また、新型コロナウイルス感染症の猛威は、予断を許さない状況であるものの、当たり前の日常が少しずつ近づきつつあります。町民の皆様には引き続き、感染症対策徹底にご協力をお願い申し上げます。

■人口減少下での持続可能性

当町の人口は、令和4年11月末日現在では10,050人ですが、平成30年に公表の推計では、2045年には4,021人になると示されています。推計公表後の令和2年国勢調査では、この推計を上回るペースで人口減少が進んでいることが明らかになりました。

私ども町政に携わる者としては、人口減少下にあっても行政サービスの質を落とすことなく、持続可能なまちづくりを進めていかなくてはなりません。

そのために、当町の基幹産業である農業と漁業が持続可能な発展を遂げるよう、昨年6月に「本県沖日本海における洋上風力発電事業の推進について」と「農地中間管理機構連農地整備事業と一体的に実施する水路等の付帯施設設備の拡充について」の2点を

要望書にまとめ、本県選出国會議員などに手渡し、当町の実情を訴えながら要望して参りました。

■地域の光は町の光

当町では「青森県型地域共生社会」の実現に向けた実証実験や取り組みが下前・折戸地区を皮切りに実施されています。その中心には集落点検をはじめ、地域の結束や地域づくりに奔走した集落支援員のご活躍があり、昨年からは名乗りを上げた各地区に集落支援員が設置され、広がりを見せています。生まれ育った地域の持続のために取り組む活動は、地域の新たな希望の光です。この光の輪が広がることで、当町をまばゆく照らし、持続可能なまちに導くものと信じています。

町議会としても、希望の光がいつまでも爛々と輝くよう、そして町民の皆様のご負託期待に応えられるよう、さらに精進して参りたいと存じますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

結びに、この1年が皆様にとりまして素晴らしい年となりますよう心から祈念申し上げ、新年のあいさついたします。

謹んで新年のご祝詞を申し上げます

中泊町副町長 横野 彰 吾
中泊町教育委員会教育長 鈴木 信 也
中泊町選挙管理委員会委員長 山本 孝 男
中泊町代表監査委員 外崎 良 造

中泊町固定資産評価委員長 佐藤 恭 一
中泊町農業委員会会長 松坂 龍 美
中泊町消防団団長 成澤 清 志